7 未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり



未来みやざき成長基金の設置

○置県150年（令和15年）を見据え、「未来を切り拓く新たな発展に向けた礎づくり」に係る施策を機動的かつ継続的に展開していくため、ふるさと納税を活用し、新たな基金を設置しました。期間は令和8年度から16年度まで（R16は精算期間）、規模は120億円程度を想定しています。

1 国スポ・障スポ開催を契機とした地域振興	2 国内外との架け橋となる広域交通ネットワークの整備加速化	3 置県150年を見据えたソフト・ハード両面からの先駆的な取組
➢ 来県者へのおもてなし・気運醸成 ➢ レガシーを最大限活用した地域振興	➢ 国際線の拡充 ➢ 新幹線整備実現に向けた機運醸成	➢ 未来みやざき成長県民会議（仮称）の設置 ➢ 地域資源や社会資本を次世代に引き継ぐ新たな付加価値の創出（ソフト・ハード）

経済効果

○レガシーを活用したスポーツの成長産業化
R6:年間 約170億円 ⇒ R15:年間 400億円
※国スポ新施設等の活用による県内への経済効果の推計
→ 2倍以上に！！

○国際線の拡充
R6:年間 約50億円 ⇒ R15:年間 80億円
※国際定期便利用者による県内への経済効果の推計
→ 1.5倍以上に！！

国スポ・障スポ開催を契機とした地域振興

来県者へのおもてなし・機運醸成

Hinata Base～みやざきの魅力発信拠点～

○宮崎を舞台としたスポーツ・神楽のＶＲ映像や焼酎の飲み比べなどが一度に体験できる拠点を宮崎駅の西口に設置し、来県者に本県の魅力に実際に触れてもらうことで、新たな観光誘客につなげます。



写真は大阪万博宮崎県ブース

国スポ・障スポに向けたユニバーサルツーリズム受入環境整備

○令和9年「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ」の参加者等の受入に向けて、宿泊施設のユニバーサルデザイン化に係る改修や設備導入に対する支援を行い、本県を訪れる障スポ参加者等の利便性や満足度の向上を図ります。



日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ応援団活動支援

○県内各地域での「国スポ・障スポ応援団」の結成を促し、応援団が主体となった国スポ・障スポを盛り上げるための活動を支援することにより、県全体での気運醸成を図ります。



国スポレガシーのフル活用

宿泊施設立地促進等支援



○国スポ施設の完成・供用等に伴い、施設周辺の宿泊施設の立地やキャパシティ拡充により受入体制を強化することで、プロスポーツキャンプや国際スポーツ大会、大規模イベントなどの戦略的誘致を促進し、地域への経済効果の最大化を図ります。

国内外との架け橋となる広域交通ネットワークの整備加速化

「みやざきの空」航空ネットワーク拡充



○国際線の新規路線誘致をはじめ、既存定期便等の活用を通じて、観光・ビジネス両面の「交流人口」を拡大します。これにより、企業誘致や人材確保、販路拡大を促進し、地域経済の持続的な成長基盤を築きます。

置県150年を見据えたソフト・ハード両面からの先駆的な取組の推進

置県150年 ネクストプロジェクト創出

○置県150年に向けた機運醸成を図るため、各分野で活躍する若者との意見交換や、子ども・若者が宮崎の歴史やこれからの未来について楽しく学べるイベントを開催します。また、置県150年を見据えた先駆的な取組（ソフト・ハード）についての企画・調査を実施します。

